

# N O R O ニ ュ ー ス

社団法人 日本外洋帆走協会

相模湾の秋色をめでてるうちに霊峰富士の雪を遠望する初冬の候を迎えましたが会員各位にはますますご活躍のことゝ大慶に存じます。

本年度も各レースを始め諸行事も各支部共々無事に進展し幾多の成果をおさめてNORCの躍進振りを発揮いたしましたことは同慶の至りに存じます。

加入新造船も30呎以上のものが目立つて多くなり、海外レースへの参加艇も場会毎に活潑の気運となり、なお、待望の小笠原諸島への外洋レースも実現の気運となりましたこと、先進諸国との交流も逐次盛んになり、当協会の発展に期待するところ多くなりました。

各位には年末年始を洋上で送迎される計画も各人各様におもちと存じますが自艇と共に常に安全であることに細心の努力を払われ年来の目的を果されますことを念願しております。

## ◇ 第10回理事会開催さる

日時 昭和42.10.15(日)

ところ 京都市左京区山端 於平八

### 議題

第1号議案 昭和42年度運輸省業務監査報告の件

第2号議案 1967年制定の安全、計測、レース各規則の完全実施承認の件

第3号議案 準会員、賛助会員に対する取扱の件

第4号議案 入会金、年会費及び分拒金等改定の件

第5号議案 役員任満了に伴う改選の件

第6号議案 新入会員承認の件(定款才7条による)

第7号議案 その他

出席者 関谷会長、秋田副会長、飯島専務理事、則武常務理事、渡辺、横山、外山、大儀長、

津田、松木、額川、角田、丹羽、大橋、井上 各理事

土肥監事

西内海支部長 田中敬一(特別参加)

審議に当つては各理事より活潑な意見の交換があり、

特に才2、才4号議案について慎重審議され、各規則の完全実施をすることに原則的には異論はないが各支部における実状には差異ありローカルのものについても考慮が払わなければならない実状があるので関係委員会において判然とさすこととなつた。

才4号議案(入会金、年会費等の件)については各支部も関東並に統一の意見が出されたが各支部において特別会員と普通会員をともに上げることは困難な意見もあり、内海、東海支部でも若干の考え方の相違もあり、明年度の予算については各支部負担金を特別会員3,000、普通会員1,000で本部予算で一応計上して収支予算書を作ることとなる。

才3号議案(準会員、賛助会員の件)については定款の関係上準会員を止めてもとの候補生とすることに決定し、定められた負担金を納入することに決定した。

以上主なる点について審議経過を記してご参考にします。

このたびの理事会に当りましては京都支部長、同支部各位から大変お世話になりましたことを付記し感謝します。

## ◇ 各委員会よりの報告

### 1. 総務委員会

常任委員会の開催

才9回……昭和42.9.12(火) 18:30 出席者16名

議 題

1. クルザー海洋教室の終了について(落合海事普及委員報告)
2. 「才12回神子元島レース」(10/20~22)の開催について(落合帆走委員長説明)
3. そ の 他
  - A) 8月定例相模湾ポイントレースの取消しについて(榎富レース委員報告)
  - B) そ の 他

才10回……昭和42.10.3(火) 18:30 出席者 21名

議 題

1. 「才3回初島レース」(10/28~29)の開催について(小林秀一帆走委員長説明)
2. 才10回理事会の開催に伴う提出議案について(飯島専務理事説明)
3. そ の 他

才11回……昭和42.11.7 18:30 出席者 16名

議 題

1. 「才12回神子元島レース」終了に伴う経過報告(落合帆走委員長説明)
2. 「才3回初島レース」取り消しの経緯について(小田帆走委員長(小林秀一氏と交替)説明)
3. 「才5回小網代カップレース」(11/25~26)の開催について(飯島元次帆走委員長説明)
4. そ の 他
  - A) 「ヨット泊地案内」の配布について
  - B) 下期入賞艇表彰式、懇親会の開催について
  - C) そ の 他

才12回……昭和42.12.5(火) 18:30 出席者 16名

議 題

1. 「才1回シリーズカップレース」終了に伴う経過報告(大儀見レース委員長説明)

2. 「才5回小網代カッブレース」終了に伴う経過報告

3. 昭和43年度事業計画(案)等について

- |            |           |
|------------|-----------|
| 1. 総務委員会   | 1. 安全委員会  |
| 1. 計測委員会   | 1. レース委員会 |
| 1. 海事普及委員会 | 1. 水路委員会  |
| 1. 法規委員会   |           |

4. その他

## 2. 安全委員会

12月1日18:30より日本船舶クラブ会議室にて安全委員会開催され、横山安全委員長より本年度の安全検査実施の各委員に対して謝詞あり、併せて来年度の安全検査方法等について意見の交換を行われた。

なお本年度の安全検査申込艇は40隻でした。

### (1) 遭難続発

相模湾では<ジョビアル・ファイブI>が沈没し、乗員はライフラフトで脱出、青森県東方海上では<ノロII>がマストを折損して遭難、伊豆大島付近ではニュージーランド船籍のトリマランが商船に接触されて大破……等々のトラブルが続発。冬期は遭難が起きやすく、助かり難い季節です。

### (2) マスト折損の原因

最近相次いでマストを折損した<チルダ号>及び<シレナ号>から詳しい報告がありました。折損の原因は接着剤の老化で、<尿素系接着剤を用いた強度部材は、3年以上経過したら、接着剤の老化に注意—安全規則、付-3-(4)->の典型的な実例です。

### (3) トラブルの報告

上記マスト折損の原因、ジョビファイのライフラフトなど、オーナーの安全管理に重要なアドバイスを今後も努力したいと思います。そのためには各艇オーナーから<トラブル報告>を頂くことが最も重要です。さ細な事でも是非とも協力的に報告して下さい。(安全委員長宛)

### 3. 計測委員会

毎月才1木曜日計測委員会と定め日本船舶クラブ会議室にて計測艇の結果及び当月中の行動等について報告、協議を行われている。

これらの活動について以下報告します。

#### 1. 1967年度計測(4.2.1 2.5現在)

##### (i) 新規計測

ルナロツサⅡ、だぼはぜ、のぶちやん、バレリーナ、卯月Ⅱ、月光Ⅱ、明日香、シーウィッチ、彩雲、オリンパスⅢ、桜工

##### (ii) 再計測

ナジャⅡ、利根、ロータス、K-7、アオレレⅡ、潮風Ⅲ、シレナ(3回)、高麗、ダモイ、さがみⅡ、シャークX、潮風Ⅲ 以上 延 14隻

##### (iii) 申込受付(未計測のもの)

浜弥、MIMI、シャークX、レディーマリアナ

2. 毎月才1木曜日計測委員会を開催、計測の打合せ、ルールの解釈、計測法の研究等活潑に活動多大の成果を取めた。

#### 3. 計測証書の発行

本部の協力を得て、全計測艇の計測証書を発行した。

#### 4. 計測データファイル作製

計測値カード、インプットデータシート、アウトプットデータシート計測証書原稿Fileを完成し、本部に保管した。

自艇のレーティングに疑問を持たれたオーナーには、自艇に限り計算過程を見ていただくことが出来る。なお、RORC計測法の実習については器具を購入帰国された小林委員に依るMISS SUNBIRDの実艇計測実習を各計測委員に対し12月3日小網代で行なわれる予定であったが都合により延期された。

### 4. レース委員会

来年度(1968)のレース計画案を大義見レース委員長他関係者にて目下検討審議を続けております。

レース回数及び名称には変更はありませんが、スタート地、スタート時刻及びコース等について一部改革が行われる様です。

なお、本年始めて取り行われた「シリーズカップレース」について来年度は春秋2季に分れて開催される様で、その区分は下記の予定の様です。

春 ～ 大島シリーズカップレース(5/12・5/25・6/9の総合点)

秋 ～ 神子元 " " (10/6・10/18・11/10 " )

(麻里記)

## 5. 水路委員会

前号にてお知らせしました「ヨット泊地案内」は海上保安庁の許可番号(才422507号)も受け、各フリート単位にフリートキャプテンのお世話を煩して配布しております。

無所属(フリート)の方及び上述の配布に洩れた方々は恐縮ですがNORC本部に折をみてお立寄り、お受取りの上参考図誌として活用して下さい。

なお本誌刊行に際しましては飯島専務理事のご厚意にて用紙調達していただきましたことを感謝します。

## ◇ 各レース経過報告及び会計報告 (関東支部)

### 1. 才12回神子元島レース(10/20～22)レース帆走委員長 落合公平

#### A) レース経過報告

#### 神子元島レース報告

帆走委員長 落合公平

1. スタート 842・10・20 23:00

2. コース 小網代～神子元島(反時計回り)～小網代 約100哩

3. 出走艇 21隻(参加人員 96名)

4. 天候

スタート時(晴)SW5～7M 21日は晴一時曇、SW～SSW15M、22日午前快晴  
約3時間はNE2M 午後N、NW、Wと変り3～5M/S

## 5. レース経過

スタート当日本土を東西に大きく包んだ高気圧帯は3日間のレースに安定した天気を予約するかに見えた。ところが案に相違して何とか心と秋の空の例えに洩れずスタート直前になつて今迄のNEの微風は急速に予想外のS、SWの強風と変り、スタートラインの維持さえ困難な状況となつた。高気圧が東西2つに割れ、丁度本土上でこれに低気圧2つが喰込んだ恰好となつてここに南風が吹込み始めたためらしい。スタート時SW7M/S既にうねりも相当大きく波頭は崩れ始めた。レース前途相当困難を思わせる。マークボートはフラッシュ灯を乗せた儘波間に沈み、役に立たない。辛じてスタート5分前モーターボートで代替のフラッシュ紅灯を定位置に運びスタートラインの明示をしたのがせい一杯である。此の状況下各艇勇躍、殆んどがゼノア、フルセールで豪快にスタートを切る。スタートラインを見失い遅れた艇も3分後には無事通過西に向う。伴走艇飛車角II、エスコート艇LOTUS亦之れを追う。23:20保安部宛2艇出走を報告電話する。発信後45分LOTUSより才1信入る。"小瀬代より280°8裡風向SSW風速15M/S視界割合良好、全艇視界内に有り"と、其の後2時間毎に入電、04:30依然として艇型は280°にて真鶴に接近しつつあり、"SW益々強くこれがせい一杯の上り"との報、各艇必死にクローズで頑張つて居る様子が電波を通してひしひしと本部に伝わる。真鶴沖4.5裡で各艇夫々初島内側に回り込むもの、外側の悪浪を強引に乗切り南下を企図するもの等々自己の作戦行動に移りレース海面は一段と広がる。結果より見るとここが今レース勝敗の才一転機となつた様に思われる。即ち外側を強引に南下を策したものに有利だつたようだ。05:40TILDEがマスト折損で帰投、マストは縦にさげ、リギン類セールは艇上に散乱し惨たんたる有様なるも艇長以下乗組員一同すこぶる元気、何等負傷もなしとの報告に一安心、後に提出された事故報告書に依ればマスト接着部に雨水侵入し潮が殆んど効いて居ない状態でマストにかかつたバンドでさげたものの由、何れにしてもあの空風下、風下に落下せるマスト索具セール類を艇上に取込み、機走自力で帰投せるレース態度は立派である。又これを目撃したTONGAはレース中にも拘はらず一巡して安全確認の上はけましの声をかけて再びレース続行に向つたとのこと共にNOROの面目躍如たるものがある。初島沿いに南下した艇は06:00川奈沖に達し、更に09:20稲取沖で前線通過する中をMIGRATOR、潮風III、K7、SALMONII、月光II、さがみII、TONGA、八丈、

SIRENA、明日香、SHARKX等続々南下、稍々遅れて艇名不詳3艇続いて居るとLOTUSより報告入る。此の間LOTUSは稲取入港、ビル屋上に望遠鏡を据えレース艇のチェックに当る。14:15保安部より爪木崎沖90°3哩の巡視船スミダより21隻南下するを確認との報を受ける(内1艇は伴走艇飛車角II)16:15稲取沖に引返才1船スピン無く北上を認め、17:10更に続く3艇スピン展張にて北上確認、其の頃風依然としてSSW15M/S各艇スピンにて快調に飛ばして居ることであろう。此の分では数時間でフィニッシュあるものと本部が待機する中に21:52:35、K-7先ずファーストホーム、次いで約30分間隔でSALMONII潮風III、さがみIIの順に入る。TONGA、SIRENAは15秒差のデッドヒートで突込む、更に利根、もさIII、月光II、八丈、明日香と伯仲して入り、コミッティーは入港艇に接舷航跡図を取りに行くことも出来ない。計時、艇名確認がせい一杯、一時間程間を置いてMIGRATORがスピンをからました儘入つて来る。追手に強い同艇がスピンも使えずジブも上げ得ず、メインのみでのランニングはさぞくやさかつたであろう。10分遅れてSHARKX、2時間置いてかまくらとフィニッシュ、其の後ぱつたりとだえて残る4艇の消息がつかめない。LOTUSとは夜間通信を前日17:00以降打切つて居るので09:00迄は何等手掛りを得る方法がない。04:30竜王丸より伊東入港、棄権の電話を受ける。余する艇は依然頑張つて居るらしい。此の間保安部より残る3艇の消息について問合せしきり。05:20どこから聞いたか朝日新聞NHKよりTILDEデスマストの件に関し、問合せが来る。又神州乗組員家族、友人からの電話も1時間毎にあり艇消息不明の儘本部は転手古舞、09:00より再開するLOTUSの無電局より帰路に就いて居る由入電ある、残るMAMBOW、AOLELEII、神州は視界になしとのことで本部は頭が痛い。10:30北上する2艇MAMBOW、AOLELEIIに城ヶ島270°4哩でミーティング、AOLELEIIは既に棄権機走中の由、又MAMBOWの話によれば神州とは爪木沖で出あつて居り3~4時間は遅れて居るとのこと。12:24:35MAMBOW敢闘の未フィニッシュ、残すは神州のみなるもMAMBOW情報以上の何も解らず本部には飯島さがみII、名和飛車角II、艇長始め友人もつめかけ手掛りを待つ。14:00保安部には一応現在残るもの神州一隻と報告、タイムリミット迄一時電話連絡を打切る旨申入れる。一方基地無線局には佐島より下田方面に向うモーターボートに附近海面のヨット見掛け次才連絡頼む旨の手配をなすも16:00迄何等手掛りなく、リミットタイム迄余すところ2時間、日没迄も聞がない。明る

い内に何とか艇影を握み度いとLOTUS艇長金原氏に再度出動を乞い、基地無線局には定時  
 外当直を依頼、待機、日正に没せんとする 17:50 帰途に就こうとするLOTUSが城ヶ  
 島SW1裡で既に機走中の神州に出遭う。漸く愁眉を開く、リミットタイムを過ぐる12分最  
 終艇神州帰投して本レースを無事了す。直ちに保安部に報告電話すると共に協力を感謝する。  
 本部閉鎖を了したのは21:00である。本レースは強風下で行われ、マスト折損1、ブーム  
 トラブル2、スピントラブル3他にセール破損、航海灯の破損等小事故は続出したが各艇適宜  
 の処置を採られ、大事に至らず無事レースを了したことは帆走委員として大変嬉しく各位のご  
 努力に感謝すると共に満腔の敬意を表します。終始ご援助戴いた保安部には毎度のこと乍ら深  
 甚の感謝を申し上げます。尙本レース運行に無線を駆使、自ら艇を出動してエスコートに当られ  
 たLOTUS艇長金原さん始め乗組の皆様有難う存じました。今後のレース運営の一試金石と  
 して大きな効果の得られたこと、又ヨット無線の実効確め得ましたことは何よりの収穫でした。

42・10・30

## B) レース会計報告

### 収入の部

		円
参加申込料	26隻	26,000
参加遅延料	3"	6,000
参加料(会員)	77名	38,500
" (一般)	19"	38,000
計		108,500

### 支出の部

	円
レース本部運営費(宿泊費、食費、交通費)	35,665
才1回艇長会議借室料	2,100
通船借料	3,000
印刷費(帆走指示書、出艇表等)	1,500
特設電話及び電話料	4,655

神奈川県ヨット無線局夜間使用料	2,700
消耗品費	850
雑費	2,720
計	5,310
差引残額	55,310円

2. 才3回初島レース(10/25~26)レース帆走委員長 小田 達雄

A) レース経過報告

1967年度才3回初島レース報告書

本年度才3回の初島レースは、台風34号の上陸にともなう気象海況の悪化から、残念ながらレース取り消しといたしました。

なお、帆走委員会としては本レースの取り消しにあたって、下記の状況を判断決定いたしましたものでありますので申し添えます。

記

1. 台風34号はレース挙行の当日10月28日(土)早朝渥美半島に上陸、その後日本海を北上し正午現在酒田沖にあつたが勢力は依然として984ミリバール、中心附近の風速25m、中心より半径500kmの範囲で15m以上の風速を維持している。台風の進行にともなつて発生した副低気圧は同日時に三陸沖にあり、988ミリバールまで発達し、前記の台風とともに東北に35km~45kmの速さで並進している。一方華中には1022ミリバールの高気圧があり、ゆつくり東進している。当日の概況としては日本本土全体が台風の中心から福江までの気圧差31ミリバールという急激な気圧傾斜の低圧帯のまつただななかにある状況であつた。
2. 19時横浜気象台に対して当委員会より相模灘を中心とする気象状況を照会したところ、概次のとおりの回答があつた。
  - (1) 台風の影響で現在海上では南西10m前後の風が吹いている。風は夜半前線通過とともに北西に変わるが、今晚、明日とも10m前後は予想される。
  - (2) 18時現在の風力・風向は大島南西15m、御前崎西12m潮の岬北西7m

- (3) 相模灘の波高は最大2.6 mであるが、風が西方向に変わるにつれて若干はおさまる傾向にあるものの、海面は相当悪化している。神奈川県・静岡県・伊豆七島は強風波浪注意報発令中である。
3. 19時の出艇申込受付をした艇はMIGRATOR、LOTUS、SALMON II、NEPTUNE K さちかぜ、MAUPTIYII、SIRENA、明日香、朝風、卯月II、あきつきの11艇で、参加申込23艇中12艇から出艇を取止の通知があつた。当委員会では帆走指示書に従い、才2回艇長会議を19時より開催し、各艇々長の見解を徴したところ、積極的に予定どおり執行すべしとの意見も、中止すべしとの意見もなく、スタート時刻延期を提案するもの数名があつた。帆走委員会としては、この状況をふまえとりあえずスタート3時間延期し、24時スタートに変更かたがたレース実施するや否やについては当然ながら当委員会に一任願ひ、結果は22時に各艇に連絡することとした。
4. その後、当委員会としては次のとおりの検討を行つた結果、22時10分レース取り消しを決定し、各艇に対し連絡を行つた。
- (1) 風向は大体西に変化し海面も日中に比較して若干おさまつたものの、Vクラス艇を含むレースとしては相当な困難と危険が予想される。
- (2) 横浜气象台に22時再度照会を行つた際の内容は19時レースを3時間延期した時点と変わらない。寒冷前線の通過したか否かも不明である。
- (3) レース実行の場合、コミティボート及びマークボートはアンカリングの関係から小網代湾中に設けなければならず、出艇数11であつても夜間、強風下における狭海面からのスタートは不測の事故を発生せしめる恐れがある。

以 上

昭和42年10月29日

帆走委員長 小 田 達 雄

B) レース会計報告

収入の部

参加申込料	30隻	31,000	円
“ 遅延料	5隻	10,000	
計		41,000	

支出の部

レース本部運営費(宿泊費、食費、交通費)	28,465	円
才1回艇長会議借通料	2,700	
コミッテイーボート借料	3,000	
印刷費(帆走指示書、出艇表等)	1,500	
電 話 料	826	
消 耗 品 費	2,045	
計	38,536	

差引残額 2,464円

(注)本レースは海洋状況により取り止めとなつたので、参加料(会員、一般)は全額(45,000円)返戻したので計上しません。

3. 才1回シリーズカッブレース(11/12)レース帆走委員長 大儀見 薫

A) レース経過報告(後報します)

B) レース会計報告

収入の部

参加申込料 (17隻)	17,000	円
計	17,000	

支出の部

消耗品代	1式	5,000
計		5,000
差引残		12,000円

(注) 残金額12,000は総合1.2.3位に授賞するカップ代に充当します。

5. 第5回小網代カップレース(11/25~26)レース紀走委員長 飯島元次

A) レース経過報告

第5回小網代カップレース報告書

紀走委員長 飯島元次

小網代カップレースは毎年11月末の土曜日に開催され、風力5~7は常時吹き抜ける相模灘に於て行われる。強風下のレースで、NORCレースの1年間の総決算にもつともふさわしい豪快なレースとされている。

第1回レースは1963年に開催され、フネポートの未明にケルグアイ大統領暗殺の悪報がラジオを通じて知らされた思い出のある日で、当日のレースは波滔含みの天候で小網代一大島はS W、大島回航后N Eに変わり大島~小網代間は風力6~7の寒冷前線にたたかれて全航程をクロスホールドで走つた珍しいレースであつた。①さかみⅢ ②のぶちゃん ③くろしお

第2回レース(1964年)は比較的N Eの平穏な風に恵まれた快適なレースだつた。

①CONTESSAⅢ ②EAGLE ③くろしお

第3回レース(1965年)はレース中全航程はS Wの強風と波浪との闘いであつた。日没頃やつと風早沖に達し、この頃より大島は暗曇につもれ一段と風力を増し、波浪は益々悪くなりレース艇は悪戦苦闘した。このレースはクラスⅢ以上は全艇棄権してJ O Gのみ完走した、外洋レースは乗組員の練度が勝負を決するという小網代カップレースらしいレースになつた。

①SIRENA ②MOSSAⅢ ③かまくら

第4回レース(1966年)はスタートの前夜以来海上は大時化でスタートした艇は申込艇の約半数と云うレースで、N Eの強風下追手でメンセールをリーフしてスタートした。

竜王崎迄の進手はブレイキングの連続で、頃合いをみてシレーナが強引にスピンを展開したが、たまたまブローチングして取り込み、全艇一段となつて大島を回航、その後のNEの強風下小網代迄のコースで勝負を決した。(1)SIRENA (2)さがみII (3)稲竜

本年の才5回レースは06:00小網代湾口指定の位置にNEの微風でマークボートを設定したが、09:00頃より一陣の突風がマークボートをぐらつかせてからは風力を次第に増した。10:00スタート6m/SEC NE全艇スピンを展開して大島に向つた。

15:00 SALMON IIより竜王崎通過、飛車角II、CHITA II、潮風IIIを確認の旨無線にて報告された。15:00より15:40迄に全艇は竜王崎を回航している。竜王崎～センバ崎～元村の間は岸寄の艇沖を走る艇と、大島のブランケットと吹下しをいかに料理するか各艇は秘術をつくしたらしい。

先行艇は16:00には元村沖を通過している。

風早崎をかわしてからはNE10m/SEC前後の風に本船航路に入り、一時は本船回避に苦労しつつ、黒潮の分流か、うまく潮をつかんだ艇は三崎迄に1時間～2時間の差をつけた。

23:50 NADJA II 風早崎を通過後マストトラブルをおこし、風下の稲取に避航した旨白崎艇長より電話連絡あり。

レース本部は01:30～02:00にトップ艇がフィニッシュすると想定したが00:53飛車角IIの航海燈を見て俄然活気づいた。続いてCHITA II、潮風III、SIRENA、SALMON IIとトップグループの暗夜整然とフィニッシュする光景は、私の筆力では表現することは出来ない。

03:53クラスNは八丈を先頭にOLYMPUS II、もさIIIと闘志にもえて赤二灯のフィニッシュラインを切つていった。

MAJORITY II MAMBOWは風早崎より初島に向い、先行艇よりコースをはずした模様  
で、遅れた時間に風向風力の差が加わり時に利あらず、敢闘したが艇長涙を飲んだところ。

13:30横須賀海上保安部に謝意を述べレース完了を報告、レース本部を解散した。

CHITAI--II 東海支部より遠路回航の上、本レースに参加され錦上花を添えられたことに  
感謝します。初参加で着順2位総合3位はさすが太平洋をのし歩いた東海の権か。

NEPTUNEKは出艇乗組員の構成が会員2名、非会員3名でレース規則に違反した。奮闘6  
着でフィニッシュしたが失格したのは残念であった。

本レース終了に当り、関係各位のご援助を感謝いたします。

## B) レース会計報告

### 第5回小網代カップレース会計報告

レース帆走委員長

飯 島 元 次

#### 収 入 の 部

		円
参加申込料	20隻	20,000
参加遅延料	2"	4,000
参加料(会員)	48名	24,000
" (一般)	13"	26,000
	計	74,000

支 出 の 部

	円
レース本部運営費（宿泊費、食費、交通費）	2 8,7 6 0
才1回艇長会議借室料	2,2 0 0
印刷費（帆走指示書、出艇表等）	1,5 0 0
特設電話架設料（通話度数料不含）	3,6 4 0
消耗品費（電池その他）	2,7 7 5
雑 費	1,9 4 0
計	4 0,8 1 5

差 引 費 3 3,1 8 5円

☒ お し ら せ

◎ 関東支部 レース入賞艇表彰式

12月13日（木）13：00より日本船舶クラブ会館室にて本年度下半期の各レース入賞艇の表彰式を、引きつづいて懇親会、蒼竜オーナーの田辺美穂氏のご厚意による映写を座します。（開催通知済）

1967' 下半期レース入賞艇

レース名		オ8回鳥羽パール (7/28~30)	オ12回神子元島 (10/20~22)	オ1回シリーズカップ (10/1・10/20・11/12)	オ5回小網代カップ (11/25~26)	
総合	1	MISS SUNBIRD	SIRENA	SIRENA	飛車角II	
	2	明日香	KAYSEVEN	もさIII	SIRENA	
	3	SALMON II	SALMON II	さがみII	CHITAI II	
クラス	II	1	MISS SUNBIRD	KAYSEVEN		
		2	—	—		
		3	—	—		
	III	1	SALMON II	SALMON II		
		2	月光II	さがみII		
		3	—	TONGA		
	IV	1	明日香	SIRENA		
		2	EPICUREAN	もさIII		
		3	SIRENA	明日香		
V	1	KELONIA				
	2	—				
	3	—				
ファスト ホーム		MISS SUNBIRD	KAY SEVEN			
相模湾 ポイント レース	1	1967' 下期		1967' 年間		
	2	SIRENA	もさIII	竜王丸	CONTESSA II	
	3	竜王丸		TONGA		

(注) オ3回初島レース(10/28~29)は取りやめとなりました。

◎ 関東支部計測委員として、又舵誌にて名司会者振りを發揮し、親しまれておる島田武夫氏（日本郵船株式会社工務部勤務）には今回同社神戸支店に栄転され、12月9日赴任の途につかれました。

新しい年と、新しい職場を迎えられる同氏の今後のご活躍を期待します。

◎ 第5回通常総会開催

定款才19条による通常総会は下記の日時に開催されます。

日 時 昭和43年2月18日（日）13：30より  
 ところ 松屋サロン（予定）

◎ 月刊誌「海の世界」の購読について

当協会の有力な賛助会員であり、密接な関係にある財団法人 日本海事広報協会が発行しております月刊「海の世界」は海事思想の普及に貢献し、その内容も豊富で、特に最近「ヨット」に関する記事を漸新な視野から掲載しております。

海洋同好の士に一読をおすすめします。

なお、NORCの会員に限り6カ月又は1カ年購読の申込者には下記のとおり割引価格で取り扱って頂くことになりましたから、ご希望の方はNORC本部宛金額添へてお申込み願います。

記

海の世界		定 価	割引価格
購 読 期 間	6カ月	1,080円(〒共)	870円(〒共)
” ”	1カ年	2,160円(〒共)	1,730円(〒共)

## ◎ 救命筏 について

ヨット向きの「ライフラフト」についてはその品質容量等について改革を期待しておりましたが、今回日本ゴム商事KKより藤倉ゴム工業KKがヨット向きの規格のものを開発し市場にその価値を問うことになつたと通知ありました。会員各位が装備されますときには一応照会されては如何ですか。(麻里記)

## ☒ 会 員 の 移 動

特別会員より普通会員へ

6701 高 沢 実 (LIEFDE)

3348 岡 村 欣一良 (FLAMINGO)

普通会員より特別会員へ

7826 W. B. JACKSON (LADY MARIANA)

準会員より普通会員へ

3405 浅 板 幹 雄 (DAMO I)

6613 金 子 嘉 弘 (のぶちゃん)

6614 服 部 芳 明 ( " )

6615 村 田 守 弘 (DAMO I)

6684 伊 藤 修 二 (天 城 )

6686 西 岡 一 正 (のぶちゃん)

6711 古 屋 和 子 (FLAMINGO II)

4462 岡 野 弘 ( " )

海外在留中の会員

五十嵐 正 彦 (6190) 山 脇 淳 夫 (2327)

R. SCOTT (5590) 平 戸 昌 利 (5583)

岸 靖 人(4472) 向 井 七男也(5554)  
 清 水 輝 男(0153) 戸 田 雄 之(5043)  
 館 内 敏(4468) 福 山 和 男(6608)  
 大 沢 浩 吉(6653) 木 村 正 文(6679)  
 石 崎 卓(5525) 古 屋 静 男(2258)  
 桑 原 一 雄(6663)

脱会申込者

5529 岡 田 政 典 6681 高 橋 功  
 1237 横 田 洋 一 郎 6621 R.K. FISHER

☒ 新登録艇紹介

セール№	艇 名	RIG	クラス	TCF	LOA×LWL×B×d	オーナー	フリート
186	LADY MARIANA (旧ベム丸Ⅱ)	S			8540×7200×2660×1390	W.B. JACKSON	油 壺
384	TRUTH (BELIEFDE)	S			7.473×6.100×2.363×1.410	中山泰輔	油 壺
610	飛車角Ⅱ	S	Ⅲ	756	3510×2510×909×600	名和幸夫	小網代
611	チャイカ	S			7.490×5.850×2.500×1.000	石塚辰雄	油 壺
612	CORAILLEUR BLEU	S			26.00×20.00×7.60×4.90	植村隆久	—

新 入 会 員 (42・8・21~42・12・5)

( 関 東 支 部 )

会員№	氏 名	住 所 (TEL)	勤 務 先 (TEL)	フリート	所 属 艇
	(特別会員)				
7849	三 輪 勝 久	北区田端新町1-1-1 (893)5451	三輪製薬(株) (893)5451	小網代	神 州
7857	植 村 隆 久	江東区深川越中島2-1 商船大学寮 (641)5479			CORAILLEUR BLUE
7859	中 山 泰 輔	台東区根岸3-13-8 (874)8821	東京義髪整形 (874)8821	油 壺	T R U T H
7863	石 塚 辰 雄	江東区東砂町5-16-14 (644)2567	石塚自動車(株) (644)2567	"	チ ヤ イ カ
	(普通会員)				
7850	富 永 弘 久	港区赤坂6-13-8 (583)7856		小網代	S A L M O N II
7851	滝 良 貞	新宿区柏木1-125 (362)5417	日英自動車(株)英車課 (583)8121	油 壺	月 光 II
7852	山 岸 弘	藤沢市藤沢391 (0466)35-3126	フジサワ 名店ビル管理会社(0466) 23-0111	江ノ島	MAUPITY II
7853	岡 角 興 次	沼津市大岡1988-3 東芝機械高田中央寮	東芝機械(株)冷機製造部 沼津(62) 5240	沼 津	O Z Z
7854	田 中 克 敏	" " 竹ノ岬712 東芝機械南アパート 沼津(62)5633	" 才一製造部才一機械課	"	"
7855	EDWIN・T WITHERBY	横須賀市秋谷4262 横須賀(56)4418	横須賀米海軍基地	油 壺	MAUPITY
7856	藤 田 憲	横浜市戸塚区矢部町791(045)871-2710	セキト建材工業(株) (871)2710	小網代	飛 車 角 II
7858	橋 本 正	大田区南馬込町3-33 18-508号(774)5881	大洋漁業(株) (216)0811内526	"	S A L M O N II
7862	白 石 常 雄	長崎市茂里町1-75	白 石 商 店	(長崎)	白 鯨
7864	MARIANA G. JACKSON	横須賀市佐島天神ヶ崎12-1500		油 壺	LADY MARIANA
7865	倉 田 勝 弘	中野区大和町1-57-7 早川アパート内 (385)8724	日本大学大学院在学(293)3251	諸 磯	LOTUS
7866	池 田 友 彦	鎌倉市材木座1-2-8 (2)7884	石油荷設(株)	油 壺	CONTESSA II
7868	津 田 哲 夫	杉並区大宮前5-252-2 (391)8606	慶応義塾大学在学	横 浜	のぶちやん
7870	田 村 勝 吾	荒川区西尾久2-1-18 (893)1024	多摩芸術学園写真科在学	小網代	N A D J A II
7871	渡 辺 三智男	板橋区中丸町55	エーザイ(株)東京営業所薬粧部 (813)1151	油 壺	卯 月 II
	(準会員)				
7860	佐 藤 潔	横浜市磯子区田中町605-5 (045)761-4146	慶応義塾大学在学	横 浜	のぶちやん
7861	柴 田 晴 康	逗子市新宿4-1971 (0468)71-4201	早稲田大学教育学部在学	油 壺	お う り ゆ う
7867	伊 藤 英 二	墨田区江東橋1-13-6 (633)0208	慶応義塾大学在学	"	D A M O I
7869	内 田 寛	埼玉県与野市上落合4-1-180 (0488)32-7920	多摩芸術学園写真科在学	小網代	N A D J A II
7872	根 元 紀 一	横浜市南区弘明寺町133 (045)731-6788	立教大学在学	油 壺	CONTESSA II
7873	長 田 泰 範	北多摩郡沼江町岩戸904 (480)1044	青山学院大学在学	"	"
7874	関 山 光 二	横浜市南区下永谷640-10	慶応義塾大学在学	江ノ島	潮 風 III
7875	永 田 耕太郎	品川区豊町6-18-5 (781)6734	"	"	さ ち か ぜ

第12回神子元島レース成績表 (昭和42年10月20日~22日)

クラス	セールNo	艇名	オーナー	艇長	T.C.F	(神子元島)回航時間	到着時間(FT)	所要時間(ET)	修正時間(CT)	順位		着順
										クラス	総合	
II	380	MISS SUNBIRD	山崎達光	"	828	日 時 分	日 時 分 秒	時 分 秒	時 分 秒			DNS
"	338	MIGRATOR	M.R.BERKELY	"	807	21 17.37	22 01.47.22	26.47.22	21.37.09	II 3	14	12
"	358	潮 風 III	竹下政彦	福吉信雄	781	" 15.10	21 22.55.10	23.55.10	18.40.52	2	9	3
"	323	KAY SEVEN	栗林定友	福田義一	778	" 14.31	21 21.52.35	22.52.35	17.47.52	①	②	1
III	188	CONTESSA II	石原慎太郎	石川昇	770							DNS
"	343	利 根	寺田保之助	福永昭	762	" 16.18	22 00.11.35	25.11.35	19.11.50	III 5	12	7
"	199	SALMON II	富永弘	飯島征四郎	756	" 14.55	21 22.35.37	23.35.37	17.50.12	" ①	③	2
"	305	竜 王 丸	奥田広男	"	748		" 23.00.00		伊東入港			DNF
"	190	月 光 II	久保田正敬	清水栄太郎	744	" 16.06	22 00.14.00	25.14.00	18.46.25	" 4	10	9
"	164	さがみ II	飯島元次	"	741	" 16.02	21 23.31.52	24.31.52	18.10.39	" ②	6	4
"	367	TILDE	J.JANSSEN	"	739		05.10.00		マスト折損 機走帰投			DNF
"	316	神 州	河瀬直春	"	736	22 04.00	22 18.12		機走			INF
"	383	TONGA	R.L.COOPER	P.A.DRIPS	739	21 16.15	21 23.51.55	24.51.55	18.22.32	" ③	8	5
IV	187	DAMOI	馬渡健治	"	732	20.20	22 04.35.45	29.35.45	21.39.51	IV 7	15	15
"	302	のぶちゃん	安岡信一	"	722							DNS
"	379	MAMBOW	小林秀一	宮野邦重	721	22 00.30	22 12.24.35	37.24.35	26.58.21	" 8	16	16
"	381	八 丈	近藤禎之	"	718	21 17.10	22 00.33.12	25.33.12	18.20.50	" 4	7	10
"	361	AOLELE II	沼口日出士	"	711		22 00.20.00		航海灯破損			DNF
"	366	も さ III	守屋克己	"	710	" 16.00	22 00.13.33	25.13.33	17.54.37	" ②	4	8
"	179	SIRENA	大儀見 薫	"	708	" 16.22	21 23.52.10	24.52.10	17.36.27	" ①	①	6
"	312	は や と り	星野利一	"	707							DNS
"	340	SHARKX	森村譲二	福留清彦	706	" 17.40	22 01.55.10	26.55.10	19.00.18	" 5	11	13
"	319	か ま く ら	中戸将治	"	705	" 19.05	" 03.37.15	28.37.15	20.10.40	" 6	13	14
"	608	明 日 香	加藤栄美	"	703	" 16.46	" 00.43.05	25.43.05	18.04.47	" ③	5	11
"	169	BALLERINA	CHRISTIAN-SON	"	701							DNS
"	369	潮 (うしお)	豊泉茂基	"	712		21 16.00.00					DNF

総合 : 1位 SIRENA 2位 KAY SEVEN 3位 SALMON II  
 級別 : クラスII 1位 KAY SEVEN  
 クラスIII 1位 SALMON II 2位 さがみ II 3位 TONGA  
 クラスIV 1位 SIRENA 2位 も さ III 3位 明日香  
 ファースト・ホーム : KAY SEVEN

1967年 SERIES CUP レース成績一覧表

級	セー ル 番 号	艇 名	RIG	RF	10月1日 相模湾ポイントレース コース：小網代-葉山-小網代 約16漕					10月20~22日 才12回神子元島レース コース：小網代-神子元島-小網代 約99漕						11月12日 相模湾ポイントレース コース：小網代-葉山-小網代 約16漕						綜 合 順 位
					*1 TCF	ET	CT	順位	減点	TCF	ET	CT	順位	減点×2	累計	TCF	ET	CT	順位	減点	累計	
					II	358	SHIOKAZE III	S	23.10	781	6.14.33	4.52.31	2	3.0	781	23.55.10	18.40.52	8	14×2=28	31.0	784	
	323	KAY SEVEN	Y	22.82	778	6.40.00	5.11.12	13	19	778	22.52.35	17.47.52	2	3.0×2=6.0	25.0	778	6.49.44	5.18.46	8	14.0	39.0	4
III	188	CONTESSA II	S	22.11	770	6.31.53	5.01.45	10	16	770	DNF	—	DNF	22×2=44	60.0	770	DNF	—	DNF	19.0	79.0	16
	343	TONE	Y	21.71	*2 762	7.27.43	5.41.10	15	21	762	25.11.35	19.11.50	11	17×2=34	55.0	766	DNF	—	DNF	19.0	74.0	14
	305	RYUO MARU	S	20.10	748	6.42.48	5.01.18	9	15	748	DNF	—	DNF	18×2=36	51.0	745	6.39.11	4.57.23	3	5.7	56.7	10
	190	GEEKO II	S	19.74	744	6.48.43	5.04.05	11	17	744	25.14.00	18.46.25	9	15×2=30	47.0	744	DNF	—	DNF	15.0	62.0	11
	164	SAGAMI II	S	19.43	741	6.38.05	4.54.59	6	11.7	741	24.31.52	18.10.39	5	10.0×2=20.0	31.7	741	6.39.39	4.54.33	2	3.0	34.7	③
	367	TILDE	S	19.31	739	DNF	—	DNF	21	739	DNF	—	DNF	18×2=36	57.0	739	DNF	—	DNF	19.0	76.0	15
	383	TONGA	S	19.25	739	6.37.26	4.53.42	3	5.7	739	24.51.55	18.22.32	7	13×2=26	31.7	739	6.51.48	5.04.19	6	11.7	43.4	6
IV	187	DAMOI	S	18.68	732	6.57.32	5.05.38	12	18	732	29.35.45	21.39.51	12	18×2=36	54.0	732	7.21.58	5.23.31	9	15.0	69.0	12
	302	NOBUCHAN	Y	17.77	722	DNF	—	DNF	21	722	DNF	—	DNF	22×2=44	65.0	722	DNF	—	DNF	19.0	84.0	17
	381	HACHIJO	Y	17.50	718	6.53.14	4.56.42	7	13	718	25.33.12	18.20.50	6	11.7×2=23.4	36.4	718	DNF	—	DNF	15.0	51.4	9
	361	AOLELE II	Y	16.92	711	7.54.00	5.37.01	14	20	711	DNF	—	DNF	18×2=36	56.0	711	DNF	—	DNF	15.0	71.0	13
	366	MOSSA III	S	16.82	710	6.53.55	4.53.53	4	8.0	710	25.13.33	17.54.37	3	5.7×2=11.4	19.4	710	DNF	—	DNF	15.0	34.4	②
	179	SIRENA	Y	16.68	708	6.50.36	4.50.42	1	0	708	24.52.10	17.36.27	1	0	0	708	6.55.14	4.53.59	1	0	0	①
	340	SHARK X	S	16.47	706	6.57.08	4.54.30	5	10.0	706	26.55.10	19.00.18	10	16×2=32	42.0	706	7.02.17	4.58.08	4	8	50.0	8
	608	ASUKA	S	16.27	703	7.02.52	4.57.17	8	14	703	25.43.05	18.04.47	4	8.0×2=16.0	30.0	703	7.12.39	5.04.09	5	10	40.0	5

(注) IYRU減点システムは下記による。

- 1位 0 点
- 2 3.0
- 3 5.7
- 4 8.0
- 5 10.0
- 6 11.7
- 7 13.0

8位以下は順位数に夫々6点を加える。

DNF及びリタイヤーは最終艇の点

失格(DSQ)及びDNSは最終艇の点+4点

10月1日のポイントレースのTCFについて:

\*1: 出艇申告記載のTCF

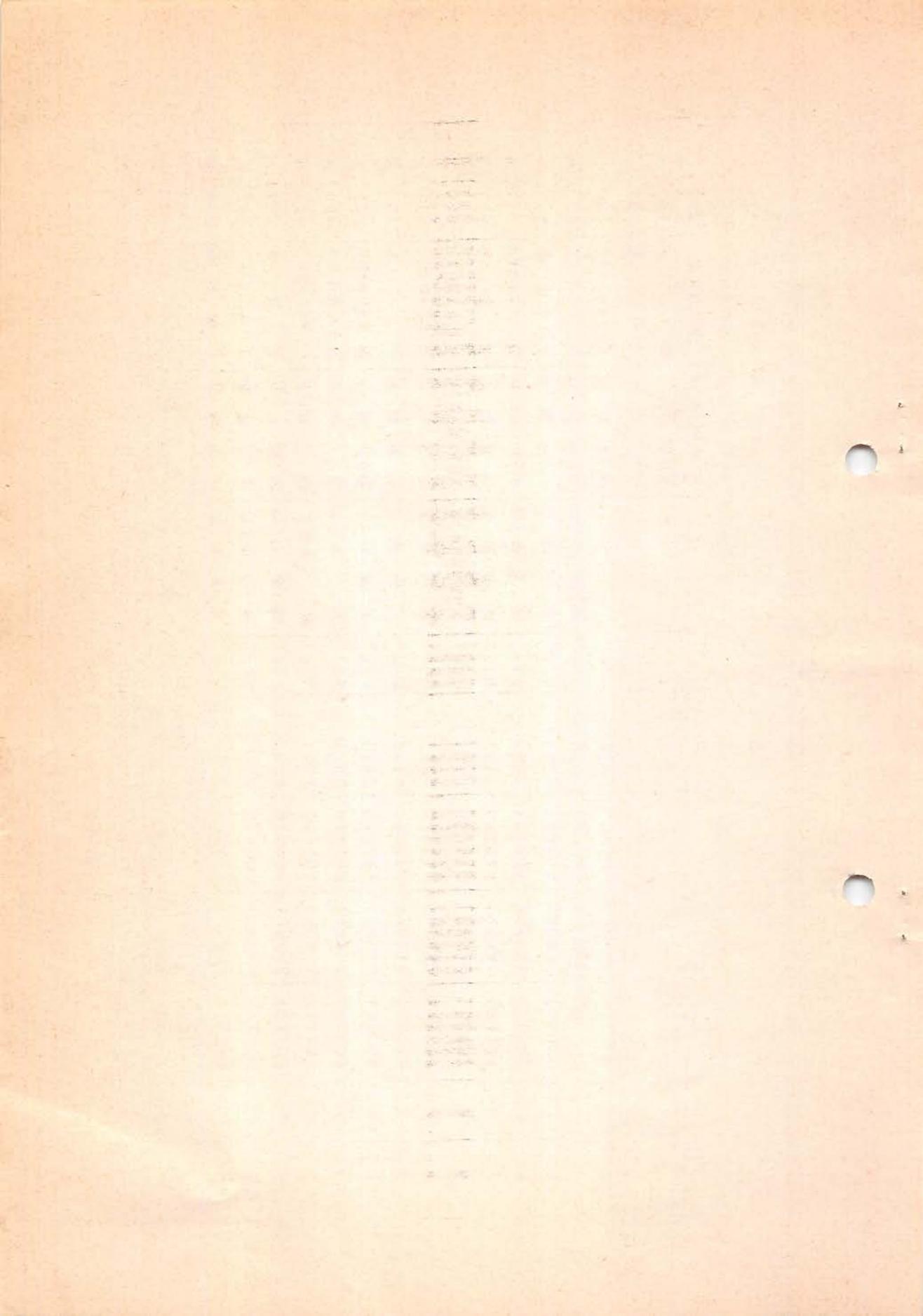
\*2: TONE: RF 21.71 TCF 0.766

第5回小網代カップレーヌ成績表

昭和42.11.25~26

クラス	セーラー名	艇名	オーナー	艇長	TOP	竜王崎 回航時間	到着時間 (PT)	所要時間 (RT)	修正時間 (OT)	総合 順位	差 隔
III	610	飛車角	名和	英郷	.756	25 1500	005345	145345	111540	①	1
II	216	OHITA	和羽	由政	.785	1505	013803	153803	121622	③	2
"	358	潮風	竹下	昌彦	.784	1506	015908	155908	123157	4	3
IV	179	SIRENA	大鏡見	大鏡見	.708	1514	022103	162103	113435	②	4
III	199	SALMON	富永	永弘	.756	1500	024248	164248	123807	5	5
"	357	NEPTUNE	古屋	徳兵衛	.746	1510	034019	174019	131059	*DSQ	6
IV	381	人	近藤	和之	.718	1515	035316	175316	125036	7	7
"	315	OLYMPUS	合落	藤合	.701	1522	041437	181437	124719	6	8
II	338	MIGRATOR	R. BERKELY	R. BERKELY	.807	1510	050113	190113	152057	9	9
IV	366	もさ	守屋	克夫	.710	1513	051843	191843	134241	8	10
"	317	MAUPITZ	岩田	義禎	.714	1540	113505	253505	181602	10	11
"	379	MAMBO	小林	禎一	.721	1525	130300	270300	193010	11	
"	389	NADJA	小白	崎野	.701						
"	188	CONTSSAI	石原	慎太郎		D.N.S					
"	388	稲竜	小沢	信三郎		"					
"	316	神州	三輪	勝久		"					
"	367	TIDDE	J. JANSSEN			"					
"	383	TONGA	R.L. GOOPER			"					
"	341	SEA WITCH	K. JULLIAN			"					
"	319	かま	中戸	将治		"					

(25日23.48繰取入港)  
\*NEPTUNE KはNOFOレーヌ規則ヲ3条オ2項(2)ニ  
ヨリ失格



## ☒ 支部だより (抜萃)

今回は各支部より原稿が集まりませんので、支部ニュース、電話連絡等によるものを抜萃記載しました。(麻里記)

### 1. 東海支部

- ◎ 東海支部の事務を永らく担当されていた大橋理事は自家開院のため9月7日付にて辞任され、佐藤充弘氏が新事務長として、奥村道子さんをアシスタントに迎え執務されることになりました。

東海支部事務局～名古屋市中区錦3丁目21-24

（株）東海銀行 TEL (052) 211-1111

内線 3844, 4251

- ◎ 関東支部開催のオ5回小網代カヌーレースにCHITA II世が参加出走され所要時間15:38:03で着順2位、総合で3位をもつて入賞を飾りました。

乗員=丹羽由昌(艇長) 角田博、隅谷洋一、曾我二郎、坪井二郎、村井千尋

- ◎ 表彰式開催～12月7日(木)18:00より東海銀行

主税町クラブ食堂にて本年度の入賞艇表彰式を開催されます。

### 2. 京都支部

10月14日(土)16:00より平八茶屋(左京区山端)にて総会に引続き盛大な表彰式が催されました。翌15日にはオ10回理事会が同所で開催され、上洛の各理事も参列し、懇親会もあり、京都支部の発展を祝福しました。

#### ◎ 表彰艇

区分	レース	ビワコ大橋	多景島	竹生島	近江舞子	沖ノ島
総合	1	オクタビア	オクタビア	アンタレス	アンタレス	完走艇
	2	—	タムダム	—	—	マリリア
	3	—	フロッグII	—	—	
A	1	ビクトリイ	マリアナ	シーメート	—	
	2	—	北	—	—	
	3	—	—	—	—	

B	1	オクタビア	オクタビア	アンタレス	—
	2	—	タムタム	ノア	—
	3	—	—	—	—

以 上

### 3. 各支部長にお願い

例年より数日早目に通常総会(第5回)が開催されますので、ご所管の昭和42年度収支決算書と昭和43年度事業計画書、収支予算書(各案)等を昭和43年1月15日迄に必着するよう作成方お願いします。(本部)

### 編 集 後 記

1967年もやがて「螢の光」を奏でることとなります。

本年度の諸行事も各支部とも無事に、多大の成果を伴なつて終了いたしましたことは同僚の至りで、新しい年を迎える毎に当協会の発展は飛躍の一途を期しております。これらにくらべNORCニユースの誌面は刷新向上の体もなく恐縮しています。寄稿にご協力願います。

迎える年は会員各位に多幸である様に希つております。(麻里記)